

2024 年 11 月 6 日

中濃厚生病院健診センターで子宮がん検診を受けられた患者さんへ

研究課題「検診受診者における骨盤臓器脱の有病、自覚症状、併存疾患との関係について」への協力をお願い

産婦人科では、下記のような診療を受けた患者さんの情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象：2018 年 7 月 1 日～2019 年 6 月 30 日の間に、当健診センターにおいて、子宮がん検診を受けられた方

研究期間：研究機関の長の研究実施許可日～2028 年 3 月 30 日

研究目的・利用方法：子宮脱をはじめとする骨盤臓器脱は、分娩や加齢をきっかけに骨盤底を支える組織がゆるみ、臓器が下垂する疾患です。中高年の女性に多くみられますが、国内での有病率はわかっていません。以前、中濃厚生病院健診センターでこの病気に関する研究調査を行いました。今回計画する研究は、当時の研究に参加していただいた受診者様にさらに高齢女性を追加し、どのような人がこの病気になりやすいのか、どんな症状が関係しているのかを解明することを目的にしています。

研究に用いる試料・情報の項目：

一般身体所見：身長、体重、腹囲、月経周期、閉経状態

妊娠・分娩歴：経妊回数、経産回数、帝王切開術の有無、初産年齢、児出生体重

器械分娩、会陰切開、分娩時裂傷縫合、分娩施設

病歴：高血圧、糖尿病、慢性呼吸器疾患、骨粗鬆症、ヘルニア、アレルギー性鼻炎、関節症、便秘、痔核、ホルモン補充療法の有無、子宮摘除歴、POP 家族歴

生活習慣：身体活動、トイレ様式、矯正下着の着用、喫煙、アルコール、カフェイン摂取

自覚症状：骨盤底困窮度質問票より 9 項目（頻尿、切迫性尿失禁、腹圧性尿失禁、

排尿後尿滴下、排尿困難、不快感、陰部の重圧感、膣のふくらみ感、ガス・便失禁）

その他：職業、収入、教育年数、重労働勤務の有無

POP-Q system の評価項目：9 つのパラメーター

研究に用いる情報の利用又は提供を開始する予定日：2026 年 12 月 1 日

外部への情報の提供：研究責任者が電子データファイルを持参

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究の内容や研究結果等について質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合

わせください。また、情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としますので、以下の連絡先まで申し出ください。なお、本研究は、代表機関である岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会において一括審査、承認され、研究科長・病院長の許可を得ております。各共同研究機関においても研究機関の長の許可を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び共同研究機関に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

研究代表者

岐阜大学大学院医学系研究科 産婦人科
氏名：加藤 順子

研究責任者

岐阜大学大学院医学系研究科 産婦人科
氏名：加藤 順子

共同研究機関等：中濃厚生病院

試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名

中濃厚生病院長 勝村 直樹

連絡先

岐阜大学大学院医学系研究科 産婦人科
電話番号：058-230-6345
氏名：加藤 順子

【苦情窓口】

岐阜大学医学系研究科・医学部 研究支援係
〒501-1194
岐阜県岐阜市柳戸 1 番 1
Tel：058-230-6059
E-mail：rinri@t.gifu-u.ac.jp